

## 議事録 概要

1 会議名	2019年度 第1回 明石市社会福祉審議会
2 開催日時	2019年（令和元年）5月27日（月曜日）13時00分～14時00分
3 開催場所	明石市役所議会棟2階 大会議室
4 出席者	審議会委員（出席者27人中22人）
5 次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会</li><li>2 新任委員の委嘱及び紹介</li><li>3 各専門分科会の前年度活動報告</li><li>4 明石市の福祉・こども関係重点施策の説明</li><li>5 その他</li><li>6 閉会</li></ol>
6 配付資料等一覧	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議次第</li><li>・委員名簿</li><li>・座席図</li><li>・各専門分科会の2018年度（平成30年度）活動報告資料</li><li>・福祉、こども関係重点施策 説明資料</li></ul>
7 会議の全部内容または進行記録	<p>詳細については別紙参照</p>

## 議事録 内容記録

司会	<p>1 開会 (13時00分)</p> <p>本会議は委員27名のうち、過半数を超える21名が出席であるため、明石市社会福祉審議会条例第6条第3項の規定に定める会議の成立要件を満たしていることを報告します。</p> <p>－ 最終的な出席者は「議事録 概要」に記載のとおり22名 －</p> <p>会議に先立ち、福祉局長よりご挨拶申し上げます。</p>
福祉局長	<p>本日は皆様、大変お忙しい中、令和元年度の第1回社会福祉審議会にお越しいただきましたことに感謝申し上げます。</p> <p>この社会福祉審議会であります。昨年度、明石市が中核市に移行したということで、中核市の固有事務として社会福祉審議会を設置し、社会福祉に関する様々な施策に関して、ご専門の立場からご意見をいただき、次の施策にいかすという趣旨でございます。</p> <p>今年2月、昨年度2回目の開催をいたしましたときに、昨年度の重点的な取り組みと、今年度の主な取組予定ということでご報告させていただきましたが、年度が変わりましたので、本日は協議事項、審議事項はございませんが、今年度の福祉的・重点的な取り組みに関して、年度報告をさせていただきます。お気づきになった点等、ご意見いただければと思います。</p> <p>社会に目を向けますと、高齢者支援として、認知症をはじめとする支援を要とする高齢者への支援、こどもの安全、福祉的な側面だけではなく、先日より、交通事故等からこどもの命をどう守っていくかということが、社会の責任、社会が何とかしなければ子どもたちの命を守ることが難しい状況になっていると思っております。</p> <p>また、好景気の期間が続いていると言われる一方で、生活困窮といわれる方の数が一向に減らないという状況です。</p> <p>日本国民みんなが安心して過ごせるように、明石市では、やさしい社会を明石から、というテーマを掲げ、明石市民の生活をより安全で、安心した取り組みを進めていこうということで、施策を展開しているところでございます。この点では、委員の皆様もご理解いただいていると思っておりますけれども、この取り組みがゴールを迎えることはなく、スタート地点を出たばかりという認識でございます。皆様のご意見をお聞きしながら、また、各担当の説明をお聞きいただき、ご理解を賜りたく存じます。</p> <p>報告事項も多数ありますが、どうぞよろしくお願いたします。</p>

<p>司会</p>	<p>それでは、早速でございますが議事に移らせていただきます。議事進行につきましては、阪田委員長よりお願いいたします。</p>								
<p>委員長</p>	<p>委員長の阪田でございます。</p> <p>今年度、第1回の社会福祉審議会ということですが、明石市は中核市になり保健所ができて、こどもセンターも立ち上がりました。これからは明石市の福祉施策が問われていく、そういう段階に突入したのではないかと考えています。そういう意味でも審議会の果たす役割は極めて重要だと思っておりますので、本日、審議事項はありませんが、委員の皆様から色々なご意見をいただければありがたいと思います。どうぞよろしくご願いたします。</p>								
<p>委員長</p>	<p><b>2 新任委員の委嘱及び紹介</b></p> <p>それでは、次第2「新任委員の委嘱及び紹介」に移らせて頂きます。</p> <p>－ 委員長より4月1日付人事異動並びに 明石こどもセンター（児童相談所）開設に伴う新委員の紹介 －</p>								
<p>委員長</p>	<p><b>3 各専門分科会の前年度活動報告</b></p> <p>では続きまして、次第3「各専門分科会の前年度活動報告」につきまして、各所管部署より報告をお願いします。</p> <p>－ <b>【各専門分科会の2018年度（平成30年度）活動報告資料】</b> により報告 －</p>								
<p>事務局</p>	<table border="0"> <tr> <td>●民生委員審査専門分科会</td> <td>地域共生社会室</td> </tr> <tr> <td>●障害者福祉専門分科会</td> <td>生活支援室</td> </tr> <tr> <td>●児童福祉専門分科会</td> <td>こども育成室</td> </tr> <tr> <td>●高齢者福祉専門分科会</td> <td>高齢者総合支援室</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 報告内容は資料を参照</p>	●民生委員審査専門分科会	地域共生社会室	●障害者福祉専門分科会	生活支援室	●児童福祉専門分科会	こども育成室	●高齢者福祉専門分科会	高齢者総合支援室
●民生委員審査専門分科会	地域共生社会室								
●障害者福祉専門分科会	生活支援室								
●児童福祉専門分科会	こども育成室								
●高齢者福祉専門分科会	高齢者総合支援室								
<p>委員長</p>	<p>各分科会の開催状況等につきましての概要説明は以上のとおりです。前年度の活動報告を行っていただきましたが、ご質問等はございますか。</p> <p style="text-align: center;">－ 質問無し －</p>								

<p>委員長</p>	<p><b>4 明石市の福祉・こども関係重点施策の説明</b></p> <p>続きまして、次第4「明石市の福祉・こども関係重点施策」について、市の各所管担当部署より、それぞれ説明をお願いします。</p> <p>なお、委員の方からのご質問等は、最後に一括してお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">－ 下記資料に基づき、それぞれ市担当部署より説明 －</p> <p>【資料】「(仮称)あかしインクルーシブ条例の検討状況について」</p> <p>【資料】「明石市立総合福祉センター新館の供用開始について」 (福祉政策室)</p> <p>【資料】「2019年度 高齢者福祉に関する重点施策」 (高齢者総合支援室)</p> <p>【資料】「2019年度 あかし保健所重点的取り組みについて」 (あかし保健所)</p> <p>【資料】「児童福祉専門分科会における第2期明石市子ども・子育て支援事業計画の策定について」 (こども育成室)</p> <p>【資料】「待機児童緊急対策等の取り組みについて」 (待機児童緊急対策室)</p> <p>【資料】「明石こどもセンター(児童相談所)について」 (明石こどもセンター)</p> <p style="text-align: right;">※ 報告内容は各資料を参照</p>
<p>委員長</p>	<p>福祉・子ども関係の重点施策についてご説明いただきました。非常に多岐にわたっており、重要な施策が多くなっております。</p> <p>皆さんにご意見をいただく前に、次第5「その他」に移りたいと思います。次回、第2回目の会議は、2020年の2月頃の開催を予定しています。議題につきましては、各専門分科会の開催状況の説明、2020年度の活動予定などの内容を予定しております。</p> <p>では、委員の皆様から、明石市の施策等につきまして、ご意見、ご質問等はございましたら、お願いいたします。</p>

<p>委員</p>	<p>2点ご質問させていただきます。資料2ページのインクルーシブの考え方の部分で、インクルーシブ教育という記載がありますが、学校での必要な支援や合理的配慮の提供などの推進について、イメージ的にどのようなものをお考えなのか、分かりましたら教えていただきたいと思います。</p> <p>もう1点は、資料5ページの高齢者福祉に関する重点施策の中で、2の④、高齢者の介護職就労活動支援は非常に重要だと思います。現実として、65歳以上の方で初任者研修を受けている方が複数おられますが、その後の就労になかなかつなげていけないというケースがあります。個人的な考えとしては、その後の就労は自分で探してください、となっているので、この就労支援というところで、例えば市内で初任者研修を受講した方に対して、こういう職場がありますよ、という市からの紹介がありましたら、市の就労事業所の審査などもあって、働く方が安心できるのではないのでしょうか。支援制度の、制度の部分について、どういう範囲で制度化しようと考えているのかを教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目のインクルーシブの推進につきましては、それぞれの部会の中で具体的な内容を検討することとしています。教育に関わることですので、条例案の中でどこまで具体化できるか、現時点でお示しできる状況ではありませんが、教育部門と連携・協力しながら、方向性等を部会で検討していくことになるかと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>高齢者の介護職就労活動支援につきまして、いま市として考えておりますのは、資格を取られたときの費用助成、既に介護資格を持ち介護職場で働いていた方が退職され再就職した際の報償金の2点です。</p> <p>ただ、委員が言われたとおり、どこで働いたらいいのか職場が分からないという方もいると思います。別途、就職相談会の実施を検討しており、そういったところで、資格をお持ちの方と、介護職の雇用がある事業所や施設をマッチングできるところまで検討できればと思いますが、具体的な施策としましては今のところ未定です。</p>
<p>福祉局長</p>	<p>各報告の補足をさせていただきます。インクルーシブ教育ですけれども、10年ほど前に教育委員会で、障害がある人もない人も一緒に、ということを始められ、明石市でも現状、熱心に取り組んでいます。教育委員会の中で、全ての、様々な障害がある方一人ひとりに対して、完璧に福祉教育を施せるかということ、ハードルが高く難しい。そのような制約の中で</p>

	<p>取り組んでいただいているので、条例を制定することによって、福祉部門を中心に福祉的視点であったり、あるいは福祉部門で当事者の方から様々なご意見を聞いていることを後押しするような形で、教育委員会の取り組みを一層今以上に推進したいという位置づけで、項目として挙げさせていただいております。</p> <p>高齢者の就労ですけれども、手探りで始めたところではありますが、何かをしなければ前に進まないということがありますので、本格的にはご意見を参考にしながら進めていきたいと考えております。ただ、市から事業所を紹介するとなると、色々と制約も考えられます。昨年9月から、高齢者福祉月間というものを新たに設けました。昨年は初めての試みで事業所までは浸透しなかったのですが、そういった機会に事業所の皆さんと市が一緒になって、福祉人材の確保に努めていくことも方法の一つと考えています。</p>
委員	<p>先ほどのご質問の続きになりますが、高齢者の介護職の就労支援について、5月13日に県の説明会に参加したのですが、県の新たな事業として、介護現場に65歳以上の方を雇われた場合、事業主もしくは就職される方、おそらく無資格者だと思いますが、現場の補助という立ち位置で、一定の助成があるという案内があったと思います。企業としての住み分けのところ、ねらいとして考えているところがあれば、市としてはこういった形で推進する、県の事業としてはこう、また県の補助とどちらも利用できるか、そのあたりの考えを教えてくださいと思います。</p>
事務局	<p>県の方の介護職というのは、今資格をお持ちの方の負担を軽減する意味で補助的な仕事に就く方の助成をする、というものだったと思います。県からは今後資料が届き、高齢者の方へのPRをしてほしいとの協力依頼も来ています。本市が進めておりますのは、資格のある方が介護職場に復帰していただくための助成金であり、県の方は補助的な立場での助成金ということで、両方とも堅実に進めていきたいと考えています。</p>
福祉局長	<p>明石市の独自性を改めて申し上げますと、県の施策もこの度の市の施策も共通して言えるのは施設の運営上、人手不足の解消ということですが、明石市の場合は勤める側の高齢者ご自身に、高齢になっても前職の経験を改めていかしていただく、あるいはまったく違う仕事から高齢者になったということで、福祉職の資格をみつけていただけて頑張ってくださいという、施設に対する配慮と勤める高齢者自身への配慮、趣旨としては大きく2点あります。県の人材確保をサポートするということもあります。高</p>

<p>委員</p>	<p>高齢者の生きがいつくりという点も重視した取り組みと位置付けております。</p> <p>資料5ページの1、高齢者の外出促進・移動支援について、たこバスの無料化とありますが、利用者は多いと思います。西部の方がかなり利用されているとの報告を聞いておりますが、東部の方は利用が少ない。地形的なこともあります、東部にももっと目を向けてほしいとの声が上がっております。</p> <p>もう1点、市政100周年に伴う寿タクシー券について、2,000円から、倍の4,000円となっております。これは今後も継続されるのかという心配の声があり、お答えする必要があると思いますのでよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず1点目、たこバスの路線ですが、路線の再編、充実につきましては都市局で検討されており、申し訳ありませんが、ここではお答えができません。</p> <p>寿タクシー券につきましては、今年度は市政施行100周年を記念して2,000円から4,000円に増額しております。今後につきましては、引き続き増額とするのか、2,000円に戻すのかを検討してまいります。</p>
<p>委員長</p>	<p>待機児童の関係で、10ページの保育士の確保ですけれども、高齢者の人材と同様に、児童福祉、保育士の人材もなかなか集まらないという現状があります。どのような状況になっているか、具体的な状況をお知らせいただけるとありがたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>保育士の確保状況につきましては、明石市では他市の保育士確保施策に先駆けて経済的支援、就労支援を積極的に行っているところであり、保育の受け皿の拡充に必要となる保育士の確保につきましては、かつてから、充足されております。世論的には不足や確保困難という状況にありますが、明石市では施策充実に伴い充足しているという状況でございます。</p>
<p>委員</p>	<p>先日の自立支援協議会でも障害を持たれている方の対応をするヘルパーさん、相談員さんが不足しており、喫緊の課題と言われております。この間、保育士については市が力を入れ、保育士の就職フェアをさせていただきましたが、今後、福祉全般、明石市の福祉職、高齢者、保育士、障害のある方に関わる福祉関係の人材の、明石市の中でのトータルのフェアの企画などは考えられているのでしょうか。</p>

<p><b>福祉局長</b></p>	<p>保育士の確保は、国を挙げての待機児童の解消ということで国策として各自治体で進められています。</p> <p>一方、障害あるいは高齢者施設に関しては、記録的な応募には至っていないというのが現状です。</p> <p>こども、高齢、障害をいっしょに PR するかどうか、少なくとも障害・高齢に関しては同じ機会に PR していければと思います。</p> <p>先程お話しした昨年 9 月の高齢者福祉月間では、若干ではありますが、障害事業所の PR もしていただいております。</p> <p>また、市の取り組みではありませんけれども、今年 3 月には障害事業所の皆様が自らフェアを開催して、大きな成果を収められたということもお聞きしております。市が積極的にかかわっていくことに加え、事業所の皆様の関わりもご協力をいただきながら、何らかの形で PR する場所を定着させていきたいと考えております。</p>
<p><b>委員長</b></p>	<p>多くの委員の皆様から、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。今後の審議の参考とさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。連絡事項等ありましたらお願いいたします。</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p style="text-align: center;">－ 事務局より事務連絡 －</p> <p>5 閉会 (14 時 00 分)</p>